

都市再生整備計画 事後評価シート

高石駅周辺地区

令和7年10月

大阪府高石市

様式2－1 評価結果のまとめ

都道府県名	大阪府		市町村名	高石市		地区名	高石駅周辺地区			面積	32ha	
交付期間	令和4年度から令和6年度まで		事後評価実施時期	令和7年度		交付対象事業費	228百万円		国費率	0.5		

1)事業の実施状況	当初計画に 位置づけ、 実施した事業	基幹事業	事業名										
		提案事業											
			事業名	削除/追加の理由				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
	当初計画 から 削除した 事業	基幹事業	-				-				-		
		提案事業	-				-				-		
	新たに追加し た事業	基幹事業	-				-				-		
		提案事業	-				-				-		
	交付期間 の変更	当 初	-		交付期間の変更による事業、 指標、数値目標への影響		-						
		変 更	-										

2)都市再生整備計画 に記載した目標を 定量化する指標 の達成状況	指 標			単位	従前値		目標値		数 値		目標 達成度	1年以内の 達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期
					基準年度		目標年度	モニタリング	評価値					
	指標1	イベント開催回数	回／年	5	R2	12	R6	-	12	○	あり	駅前広場に人工芝エリア等を整備したことにより、滞在快適性が向上したほか、社会実験により駅前広場の利用に関するモデルケースを提示できたことから、イベント開催回数が増加したと考える。	-	
										なし				
	指標2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	あり	-	-	
	指標3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	あり	-	-	
	指標4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	あり	-	-	
	指標5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	あり	-	-	

3)その他の数値指標 (当初設定した数値 目標以外の指標)に よる効果発現状況	指 標			単位	従前値		目標値		数 値		目標 達成度	1年以内の 達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期
					基準年度		目標年度	モニタリング	評価値					
	その他の数値指標1	-	-	-	-			-	-			-	-	
	その他の数値指標2	-	-	-	-			-	-			-	-	

4)定性的な効果 発現状況	駅前広場において、マルシェや音楽イベント等のイベント利用が定着しつつある。 また駅前広場の整備により、今後整備を予定している北側高架下エリアなどへの関心が高まっている。													
------------------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

5)実施過程の評価		実施内容			実施状況			今後の対応方針等		
	モニタリング	-			都市再生整備計画に記載し、実施できた					
					都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した					
					都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					
	官民連携による 取組	官民が参画した高石駅周辺えきまち連携会議により、当エリアの整備にあたり、協議を重ねた。			都市再生整備計画に記載し、実施できた			○		
					都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した			今後も引き続き、官民連携による取組を実施し、エリアの活性化を図る。		
都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										
持続的なまちづくり 体制の構築	-			都市再生整備計画に記載し、実施できた						
				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した						
				都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						

様式2-2 地区の概要

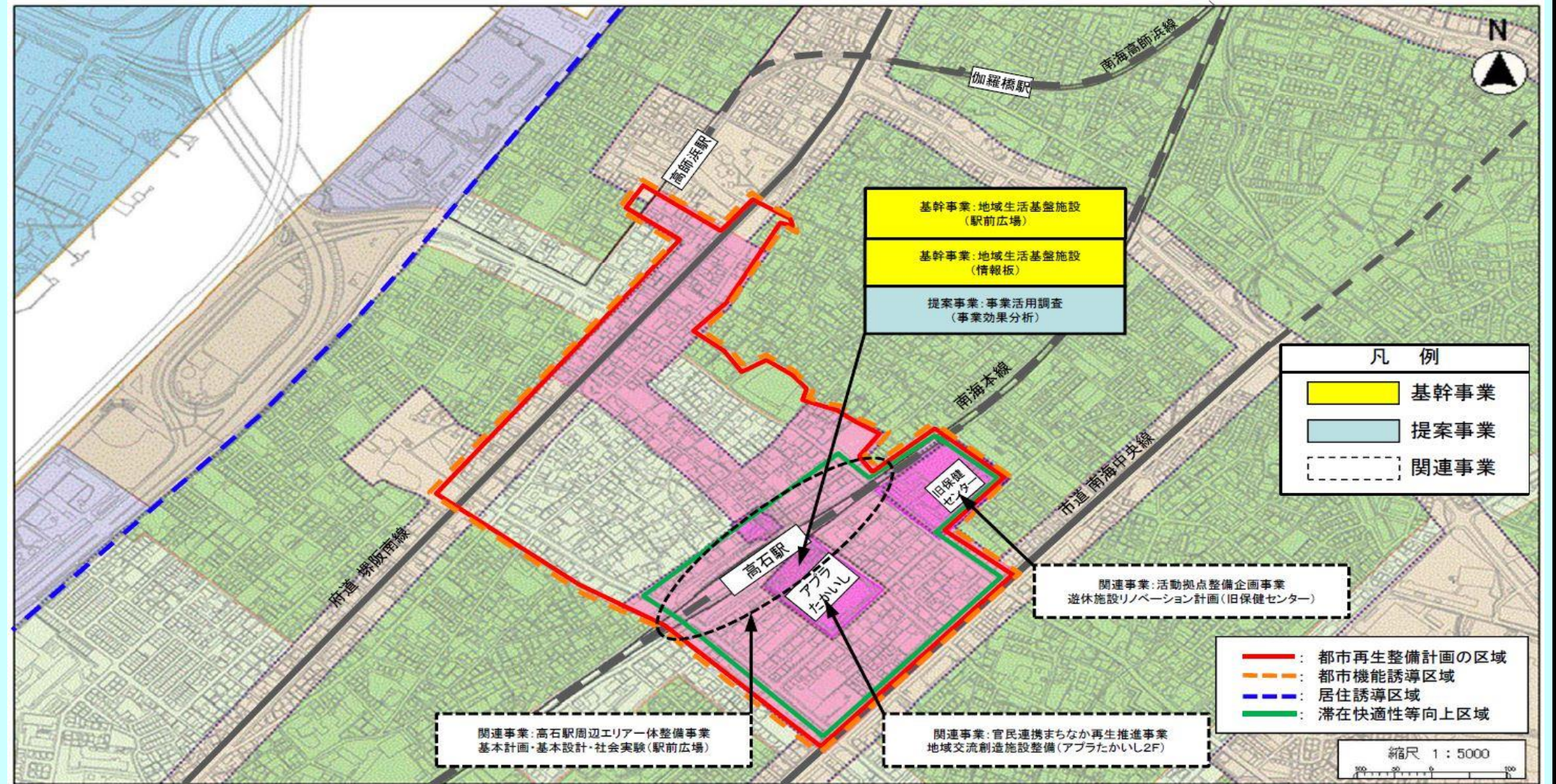
高石駅周辺地区（大阪府高石市）都市再生整備計画事業の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標 鉄道高架化を契機とした高石駅周辺の魅力あるまちづくり 目標① アブラたかいしの改修による駅周辺の地域交流拠点化 目標② 地域交流拠点を中心とした駅周辺まちづくりにおける官民連携の取組の推進 目標③ 駅周辺エリアの回遊性や滞在快適性に優れた居心地のよいウォーカブルなまちづくりの推進		イベント開催回数	単位：回／年	5	R2	12	R6	12	R6
			単位：		H		R		R
			単位：		H		R		R
			単位：		H		R		R
			単位：		H		R		R



高石駅前広場(東側) — 整備後



アプラたかいし2階 — 整備後



まちの課題の変化	・駅前広場における放置自転車の常態化していたが駅前広場の整備により違法駐輪が一切なくなり、課題が解消された。 ・広場整備及び情報版設置により散策環境を整え、駅周辺の回遊性を高めたが、東西エリア間の回遊導線が未だ十分とは言えない。
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	本事業において、高石駅東側駅前広場のロータリーを縮小し、歩行空間の再編成と芝生広場を主とした整備を行った。その結果、駅とアプラたかいしの回遊性が向上し、駅前広場でのイベント回数が増加すると共に周辺施設の利用者も増加するなどの相乗効果が発揮されている。 一方、東西の回遊導線は駅の自由通路部分のみと十分ではない。今後、まちの一体的な活性化のために、鉄道高架下空間や東西の商店街エリアを含めた回遊動線を引き続き構築する必要がある。